

“くらしよし” ふるさとビジョン

愛着と誇り—新しい倉吉のまちづくりに向けて

本市では、昭和 28 年の市政施行以来、第 10 次にわたる総合計画を策定し、豊かな自然と長年培われてきた歴史・文化を活かしたまちづくりを進めてきました。

しかし、国内の社会経済動向は、進行する少子高齢化による人口減少・超高齢社会の到来、諸外国の経済変動が地域社会にも多大な影響を与える経済のグローバル化、地球温暖化に代表される環境問題の顕在化、国・地方を問わず深刻さを増す財政状況の悪化や地方分権の伸展など、さまざまな面で倉吉市のまちづくりにとっても極めて大きな影響をもたらしています。

さらに、行政サービスに対するニーズが多様化・高度化しており、拡大・成長を基調とする社会から安定・成熟型の社会への移行が進み、従来のように行政がすべてのニーズを一手に引き受けてさまざまな課題を解決するのは、もはや限界にさしかかり、時代は今、かつて経験したことのないような大きな曲がり角に直面しています。

このたび、このような状況を踏まえて、新たな時代に対応したまちづくりを進めるため、新しい総合計画“くらしよし”ふるさとビジョン（第 11 次倉吉市総合計画）を策定しました。

倉吉市に住む人、働く人、学ぶ人など、わたしたちみんなが、それぞれの責任と役割をしっかりと自覚し、支え合い、助け合いながら、一丸となって目指すまちの将来都市像を「愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉」とし、より多くの人たちから住み続けたい、訪れたいと強く支持され、次世代に誇りと自信を持って継承できる倉吉市の確立を図ろうとするものです。

本市を担う子どもたちが、ふるさと・倉吉に強い愛着と誇りを持ち、たくましく暮らし学ぶとともに、みんなの力によってまちを活性化させ、まちを支える・まちに誇りを持った若者たちが倉吉に定着して、だれもが住み慣れた地域の中で、いきいきと活躍する、未来に希望が持てる持続性・発展性にあふれた“くらしよい”倉吉市を目指していきたいと考えています。

市民の皆様のご理解とご協力、そしてご参画をいただきますようお願い申し上げます。



倉吉市長
石田 耕太郎

平成 23 年 3 月